第224号
〔発　行〕
令和７年10月26日

〔発行所〕
〒600-8009
京都市下京区四条通室町東入
京都商工会議所内
京都珠算振興会
☎075(353)7124 FAX 075(353)7125

京都珠算振興会会報

そろばんグランプリジャパン２０２５

そろばんグランプリジャパン２０２５が７月27日に兵庫県の神戸常盤アリーナ（県立文化体育館）で開催された。京都からは、推薦選手と自由参加選手の合わせて９名が出場した。大会１週間前の７月20日には、強化練習会を実施しました。

大会は、総合競技（１回戦・日本一決定戦進出者決定戦）、よみあげ算競技、フラッシュ暗算競技、よみあげ暗算競技、総合競技（そろばん日本一決定戦）と進められ、それぞれの競技・部門での日本一が決定した。（成績の詳細は、日本珠算710号に記載）

京都府選手団の成績は、ジュニア部門で田中綾音選手が満点で、日本一決定戦進出者決定戦に進出したが、惜しくも日本一決定戦への進出とはならなかった。スクール部門では、高橋風介選手があと５点と健闘したものの惜しくも日本一決定戦への進出は逃した。シニア部門では、磯貝勇誠選手が５回連続の満点で、三原智輝選手が初の満点でそれぞれ日本一決定戦に進出を果たし、京都としては、７年ぶりにシニア部門で複数名の日本一決定戦進出となった。

日本一決定戦は、磯貝選手が暗算種目で圧倒的なスピードでのトップに立つとそろばん種目は冷静に競技を進め、辻窪凛音選手の連続日本一を５回でストップさせ、300点満点、計算速度も１位で２年ぶり２回目のそろばん日本一に輝いた。三原選手は、みとり暗算とみとり算でのミスが響き10位となった。

来年は、全ての部門で日本一決定戦に進出する選手が出るとともに、日本一決定戦での活躍を期待したい。

種目別競技は、よみあげ暗算で青年学生部の本間聖康選手が３連覇を目指したが、奈良優杜選手（道央）と最後まで競り合ったものの惜しくも２位入賞となった。

また、フラッシュ暗算では、磯貝選手が辻窪選手との競り合いを制し、昨年のリベンジを果たし、京都としては11年ぶりとなる、初の日本一を獲得した。

京都勢の個人と種目別競技との２冠は、前身の国民珠算競技大会で第39回で波多野優香選手、第45回で波多野真将選手、第48回で波多野優香選手（２回目）が、それぞれ個人とよみあげ暗算の２冠を獲得して以来、31年ぶりの３人目（４回目）の快挙となった。

次回より個人総合の１回戦の問題数を増やすことが発表された。日本一決定戦への進出には、より実力を強化することが必要となることが想定される。

来年以降も、京都珠算振興会のたくさんの選手が、全国大会に出場できるよう、地元の大会や全国あんざん・そろばんコンクールに積極的に参加してもらいたいと思う。

（京都府選手団監督　競技委員会
木下　卓巳）

失敗を糧に
――再び日本一の舞台へ

西京都学院　京都大学３年
磯貝　勇誠

一昨年のグランプリで初優勝を果たしましたが、昨年は日本一決定戦でかけ算２問、みとり算１問のミスにより280点で８位という、不完全燃焼の結果に終わりました。

５月に行われた京都府予選では、しっかり満点を取り、本選大会に向けて弾みをつけようと思っていました。しかし蓋を開けてみると、みとり暗算で一つミスし590点。課題を残す結果での本選出場決定となりました。

伸ばさなければならない技能は大きく３つ――「正確性」、「速度」、そして「読める数字を書くこと」でした。６月から７月前半までは生活の合間にスピード強化を中心に行っていたため、グランプリの練習を始めた頃には正確性や数字の綺麗さが落ちて

いました。

全速力で解いても、日本一決定戦の練習では全く満点が取れず、「このままではまずい」と感じていました。優勝するには予選、日本一決定戦ともに満点は必須条件。その上で、満点者の中で最も計算時間が短くなければ勝つことはできません。

昨年はかけ算で脱落してしまい、日本一を決める戦いに最後まで真の意味では参加することができませんでした。今年は最終種目まで間違えずに切り抜け、観戦している方にも最後まで展開が分からないような戦いをお見せしたいと思っていました。

しかし前日になっても日本一決定戦での満点率は決して高いとは言えず、「なるようにしかならない」と考えました。神社に出向き、御神水をいただいてたくさん飲み、ひたすら神に願って心を落ちつけました。

本番当日、予選を完璧にクリアし、シニア部門は想定通り全員満点での決勝進出となりました。

その後のフラッシュ暗算競技では、辻窪凛音選手との差は正直開いてしまっているので、昨年誤答した1.7秒を正答し、あとはできる限り食らいつこうという気持ちでした。運良く1.65秒を正答でき、「今日はもしかしたら調子がいいかも？」と思いながら、午後の日本一決定戦も取るぞという気持ちになりました。

ジュニア、スクール部門の決勝中も、観戦する精神的余裕はほとんどなく、無我夢中で練習に取り組んでいました。

シニア部門決勝が始まり、作戦は「自分の全速力で解き切り、絶対に間違えない」でした。暗算種目終了時点で2位と約10秒差がついていましたが、かけ算を全速力でやると昨年のように間違えてしまうことを恐れ、スピードを落として正確さを優先しました。結果は満点で、わり算も無事クリア。みとり算を残し2位との差は4.5秒程度まで縮まりました。

「みとり算はフルスピードでもおそらく25秒程度。だから30秒以内で満点なら勝てる」という「守り」の自分と、「ここでも全速力で攻めて辻窪選手と真っ向から勝負したい」という「攻め」の自分との間で葛藤がありました。

しばし考え、「連覇のプレッシャーがある中で10秒差からここまでタイム差を縮め、しかも間違えない辻窪選手は覚悟と度胸が違う」と感心しました。そして、「攻め」の自分を選び、最後まで勝負を挑むことにしました。結果は最高タイムに近い25秒台。昨年はほぼ同じタイムでミスをしていたため自信は3割ほどで、「また欲が出てしまった。カッコつけようとしてしまった！」と成績発表まで頭を抱えていました。

満点だと発表された瞬間、驚きとともに「攻め勝てた！」という喜びが込み上げ、思わずガッツポーズをしてしまいました。

大会終了後は、多くの方から「おめでとう」「良い戦いだった」「これからも頑張ってほしい」と声をかけていただき、大変嬉しく思いました。連覇は難しいだろうと感じていますが、来年も熱い戦いができるよう、更にレベルアップを目指します。

少しだけ、特に後輩選手に向けてメッセージを送らせていただきたく思います。私は、結果だけが全てではないと思っています。たくさん失敗を重ねても、自分が成長できた、全力を出し切る納得の試合ができたと思えるなら、それは意味のある失敗です。もしかすると、成功よりも失敗から学ぶことのほうが多いかもしれません。そして多少の逆境も、成功を妨げるものではなく、壁を超えた先の景色とそこに至る道のりをより美しく輝かせてくれるものになるはずです。だから、思い通りにいかず挫折しそうな時も、一度諦めずに頑張る理由を探してみてください。その経験が、自分の自信につながるはずです。

最後になりましたが、京都珠算振興会の先生方を始めとして、いつも練習面やその他多くの面で支えてくださる先生方、アドバイスや姿勢で勇気を与えてくれる先輩選手の皆様、そして後を追いかけてくれる後輩選手たち、長い間見守ってくれている家族の存在が、心が折れそうな時も私を後押しし、ここまで導いてくれていると強く感じます。

その方々の存在がなければ今の自分の恵まれた立場はないと常々思っております。ありがとうございます。残された時間は長くないかもしれませんが、見ている人に何かを感じてもらえるよう、全力で珠算界を盛り上げていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

また、グランプリの開催にご尽力くださった関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

日本珠算連盟表彰

50年を振り返って

浦珠算塾　浦　富江

この度は日本珠算連盟の名誉あります五十年表彰を頂き、感謝申し上げます。

顧みますれば昭和四十年、神戸より京都山科にて、フリーで珠算塾を、二、三年後には、塾生も増え下級、上級と検定試験の申し込みを京都珠算振興会事務局へ、当時栗津広美先生のお勧めで中西惟義先生、内海捷美先生の推薦を頂き昭和四十八年に入会させて頂きました。

諸先生方のお蔭をもちまして現在八十八才、これからもスタッフ共々恥じることなく研鑽して参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

10年表彰

橋珠算塾　山本　順

この度、日本珠算連盟の会員になって10年が経ち、表彰を受けさせて頂きました。10年は長いようであっという間でした。

現在、京都珠算振興会では総務委員会に所属させていただいており、主に会報の校正、発刊に携わっております。前任の袴田徳司先生より引き継がせてもらったのですが、私の場合、袴田先生の様に事前の準備や段取りが上手く出来ず、いつも委員の先生方にご迷惑を掛けてばかりで本当に申し訳なく思っております。

この10年の間にコロナウイルスが流行し、今までにない大変な時期を過ごす経験をしました。そしてここ数年、京都珠算振興会の会員も減少傾向にあり、なかなか前途多難ではありますが、少しでも振興会に貢献出来る様、日々を過ごしていきたいと思います。

10年表彰
～感謝を胸に、これからも～

京都ábaco　高橋　理沙

教室を開いてから、早いもので10年という節目を迎えました。２０１５年に初めて生徒さんが教室に来られた時の、緊張感を今でも鮮明に覚えています。まるで昨日のことのようです。

この10年間、たくさんの素敵な出会いに恵まれました。しかし同時に、成長して巣立っていく生徒さんとの悲しい別れも幾度となく経験しました。未だに別れの際には涙してしまうこともあり、この寂しさにはなかなか慣れることができません。

気持ちが落ち込むような時も、生徒さんたちのひたむきに頑張る姿や、屈託のない笑顔に癒され、力をもらい、頑張る糧にしています。

私が今日まで歩んでこられたのは、京都珠算振興会の先生方、家族の支えがあったからです。この場を借りて、先生方のご指導に深く感謝申し上げます。

これからも、「日々勉強」の気持ちを大切に、努力を続けてまいります。いつか生徒さんたちが大人になった時に、「この先生と出会えてよかった」と思い出してもらえるような、寄り添える指導者を目指し、頑張りたいと思っております。

今後とも、ご指導の程、よろしくお願いいたします

表彰状
浦　富江　殿
あなたは本連盟の会員として五十年の永きにわたり本連盟の事業の発展に力を尽くされその功績は顕著であります
よって表彰規則第四条の規定に基づき表彰いたします
令和七年六月十四日
一般社団法人 日本珠算連盟
理事長 内海雅美

表彰状
山本　順　殿
あなたは本連盟の会員として十年の永きにわたり本連盟の事業の発展に力を尽くされその功績は顕著であります
よって表彰規則第四条の規定に基づき表彰いたします
令和七年六月十四日
一般社団法人 日本珠算連盟
理事長 内海雅美

表彰状
高橋理沙　殿
あなたは本連盟の会員として十年の永きにわたり本連盟の事業の発展に力を尽くされその功績は顕著であります
よって表彰規則第四条の規定に基づき表彰いたします
令和七年六月十四日
一般社団法人 日本珠算連盟
理事長 内海雅美

令和7年度　例会

令和7年9月7日(日)、例会に先立ち、午前9時30分より各委員会が開催されました。委員会終了後、定刻通り午前10時30分より京都商工会議所7階会議室にて堀井龍造副会長の司会のもと、例会が始まりました。

例会では、総務委員会、検定委員会、塾経営広報委員会、競技委員会、事務局の順で事業経過と予定の報告がありました。

その後、「そろばんグランプリジャパン２０２５」にて見事日本一に輝いた磯貝勇誠選手の大会当日の激戦をまとめたダイジェストをＹＯＵＴＵＢＥにて鑑賞しました。

また、日本珠算連盟より50年表彰を浦富江先生、10年表彰を山本順先生と高橋理沙先生がそれぞれ表彰され、今回の例会は終了となりました。

ここ数年コロナ禍などもあり、例会後の恒例となっておりました懇親会が、今回も残念ながら中止となりました。またいつの日か開催出来ることを願っております。

総務委員会

2025年　全国あんざんコンクール　京都大会成績　金賞入賞者一覧

令和7年7月実施　申込者数　213名　参加者数　210名

①小学校1年生以下の部　（5名）
1205　森泉龍之介　（西京都）
1075　宮下　泰智　（アイ）
2025年京都　銀賞740以上
2024年全国　99位　820

②小学校2年生の部　（7名）
1390　井上　桧里　（醍醐）
1360　松田　龍磨　（アイ）
2025年京都　銀賞1065以上
2024年全国　96位　1065

③小学校3年生の部　（30名）
1530　岡田　千莉　（西京都）
1505　村瀬　瑛祐　（ábaco）
1475　澤　桜生　（脳育）
1330　松浦　陸人　（アイ）
1315　森泉倫太郎　（西京都）
1305　川崎　都代　（猪熊）
1255　岸野　翼　（北山）
1170　桑名　紘生　（アイ）
1145　小山　桔平　（誠珠会）
1135　松中　咲希　（ábaco）
2025年京都　銀賞690以上
2024年全国　100位　1285

④小学校4年生の部　（29名）
1380　松尾　友弦　（脳育）
1365　浅井　湧成　（白梅町）
1265　原田　大輝　（北山）
1125　阪森　凪紗　（アイ）
1115　砂田　心春　（脳育）
1110　木村　悠貴　（ábaco）
1105　川村　湊　（ábaco）
1010　小西　翼桜　（荒井）
955　岸本　悠里　（誠珠会）
835　岡田あかり　（誠珠会）
835　岩淵琳大郎　（誠珠会）
2025年京都　銀賞740以上
2024年全国　100位　1415

⑤小学校5年生の部　（36名）
1675　河井　七翔　（アイ）
1530　内海　裕斗　（醍醐）
1485　蔵城　禾子　（猪熊）
1475　柴田　明莉　（北山）
1445　上甲　颯大　（脳育）
1435　森田　桜香　（北山）
1305　西脇　大智　（醍醐）
1255　善家　栞奈　（伸童）
1245　松本　紗弓　（アイ）
1200　井上　晴仁　（北山）
1155　直井　涼香　（ábaco）
2025年京都　銀賞910以上
2024年全国　100位　1535

⑥小学校6年生の部　（35名）
1555　水上　拓真　（北山）
1550　中村　遥太　（アイ）
1495　井上　斗里　（醍醐）
1480　古荘　れあ　（アイ）
1460　尾藤　佑飛　（アイ）
1450　芦田　眞依　（伸童）
1440　蟹江　紬　（誠珠会）
1430　小西　陽　（アイ）
1405　若松　真衣　（桃南）
1375　森元　健心　（浦）
1370　山本　翔大　（ábaco）
1350　太田　惇平　（脳育）
2025年京都　銀賞970以上
2024年全国　100位　1580

⑦中学校1年生の部　（25名）
1775　佐藤　光　（アイ）
1730　尾崎　敦啓　（脳育）
1725　風間　芽奈　（醍醐）
1700　山本　穂花　（脳育）
1670　民谷萌々香　（醍醐）
1610　吉井　晨悟　（ábaco）
1610　砂田　颯太　（脳育）
1500　前田　蒼空　（醍醐）
2025年京都　銀賞1245以上
2024年全国　99位　1620

⑧中学校2年生の部　（17名）
1800　高橋　風介　（ábaco）
1785　矢ヶ部椎菜　（脳育）
1625　松本　愛弓　（アイ）
1615　井爪惺太朗　（伸童）
1585　井上　優里　（醍醐）
1535　木村　浩貴　（ábaco）
2025年京都　銀賞1210以上
2024年全国　97位　1645

⑨中学校3年生の部　（10名）
1800　久野　凌佑　（西京都）
1760　尾崎　壮祐　（脳育）
1710　家森　快斗　（醍醐）
2025年京都　銀賞1355以上
2024年全国　100位　1565

⑩高校生の部　（11名）
1795　三原　駿介　（西京都）
1780　矢ヶ部菜月　（脳育）
1550　北山　隼　（入江）
2025年京都　銀賞1445以上
2024年全国　100位　1710

⑪一般の部Ⅰ（50歳未満）（5名）
1800　三原　智輝　（西京都）
1800　磯貝　勇誠　（西京都）
2025年京都　銀賞1730以上
2024年全国　99位　1695

⑫一般の部Ⅱ（50歳以上）（0名）
2024年全国　62位　440

一級満点合格

平安速算会　白梅町教場
横浜国立大学1年
（合格当時
京都市立堀川高等学校3年）
嶋　蒼葉

12月に大学受験を終え、何か新たに頑張る目標が欲しいと思っていたときに中学1年生のときに諦めてしまった一級満点合格が頭に思い浮かびました。

小学校5年生のときからほぼ毎回のように試験を受けて、ほとんどが295点という悔しい結果で終わってしまっていました。中学校に入りそろばん以外に部活や勉強などで忙しくなってしまったことでそろばん自体から遠ざかってしまい、一級の試験にも挑戦することはありませんでした。さらに高校生になるとさらに忙しくなってしまい、大学受験を控えていたこともあって、このまま一級満点を達成することなく終わってしまうのだろうと思っていました。しかし、想定よりも早めに大学受験が終わり時間ができたので今回が正真正銘ラストチャンスだと思って挑戦することにしました。このときけっこうなブランクがあったので「満点が取れるか分からないけど一か八かでやってみよう」ぐらいの気持ちで望んだのが、かえっていい結果につながったのではないかと今では思います。それでも試験当日は久しぶりの試験会場の雰囲気に緊張しました。「とにかく頑張ろう、リラックスしてやろう」と自分に言い聞かせ続けていました。見直しをするときには全てをやり直す時間はないので練習などで自分がよく間違えていたパターンを中心に見直しをするようにしていました。すると本番で絶対にあり得ない間違いがあり少し焦りましたがあれを書き直していなかったら満点をとることができていなかったと思うと自分のことをきちんと理解していて良かったなと思います。それでも当日は他にも間違いがあるのではないかと不安になり「合格はしているだろうけど、満点は無理だな」と思っていました。

後日、合格発表の日になり結果を見たときに、満点合格という文言が書かれていなかったので「やっぱり無理だったんだ。」と落ち込みましたが、審査が通るかまだ分からないからと言われ少し希望が見えました。そして正式に満点が決まった時はこれまでの頑張りが報われたような気がしてとても嬉しかったです。またこれまで応援していただいた先生にもいい報告ができて本当によかったです。

春から京都ではなく横浜で生活しているため皆さんとは会う機会は少なくなりますが、京都の皆さんの活躍を陰ながら応援しています。私も自分のペースでそろばんと向き合っていきたいと思います。

一級満点合格

京都ábaco
京都市立京都御池中学校8年
（合格当時7年）
高橋　風介

日本商工会議所の珠算「一級満点合格」は、「日本珠算連盟 段位認定試験の十段が取れたら、必ずチャレンジする！」と決めていた、大きな目標の一つでした。

第142回日本珠算連盟 段位認定試験で、念願の十段が取得できたので、ついに、この目標を実行する時がきました。

僕が、一級満点合格にチャレンジしようと思った理由は、競技大会の予選では、満点を取ることが必須となることが多く、満点を目指すことによって、答えの正確性を高め、数字を綺麗に書く練習にもなり、答えを一度で合わせる力がつくと考えたからです。

さらに、一級満点合格者には金の盾が贈られることを知り、「金の盾が欲しい」という強い憧れが大きな動機となりました。どちらかといえば「カッコいい金の盾」が欲しかった方が強かったのかもしれません。

満点を狙うためには、ただ、時間内に全問を解くだけではなく、計画的な戦略が必要でした。具体的には、「何分で問題を解き終え、何分でどのような見直しをするか。」といった、作戦通りの練習をすることで、満点を取るための練習を楽しむことができました。

中でも僕が最も意識したのは、日頃の練習で300点を連続で取り続けることでした。練習で常に満点が取れていれば、本番でも自信がついた状態で挑むことができ、緊張でペースが乱れることもなく、自分のペースで確実に解き進めることができると考えたからです。

僕自身は元々スピードタイプで正確性に欠ける部分があるため、自分なりにいくつかの工夫をしました。日頃の練習では、なるべく見直しはせず、一回で答えを合わせる練習を常に心がけました。

そして迎えた本番では、緊張することなく、平常心で挑むことができました。

試験が終わった後には、「これは300点が取れた」という確信がありました。結果として300点の満点で合格できたことを大変嬉しく思っています。

自分なりに工夫を凝らし、楽しみ、この目標を達成できたことは大きな自信と喜びにも繋がりました。

しかし「一級満点」を取れたからといって、ここで満足するわけにはいきません。

僕が、第233回日本商工会議所一級満点合格をしたちょうど同時期に、憧れの先輩方である、磯貝勇誠選手・三原智輝選手が、最難関の第143回日本珠算連盟 段位認定試験で「全種目満点十段」を取得されました。僕にはとても大きい夢のような目標ではありますが、いずれ果敢にチャレンジしたいと思っています。

応援してくださる先生方にはいつも声をかけていただき、ありがとうございます。いつか、期待に応えられるよう、日々の練習にも全力で取り組みたいと思います。そして全国大会でもいつか入賞できるように頑張ります。

これからも応援していただけると嬉しいです。よろしくお願いします。

一級満点合格を経て

京都ábaco　金子　紗弥
（同志社大学　3回生）

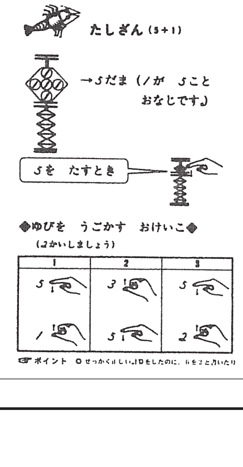
京都珠算振興会の先生方、「はじめまして、金子紗弥と申します。」

私は広島県で生まれ育ちました。近所の珠算塾で高校卒業までお世話になり、大学進学で京都にやって来ました。進学後も細々と珠算を続けようと思い、検定試験の申し込みのために商工会議所を訪れた際、高橋理沙先生に出会いました。「ウチに通ったらいいよ」と明るく声をかけていただいたご縁は一生忘れません。先生は無理のない範囲での通塾にご協力いただき、自分のペースで効率良く練習に励む場を提供していただきました。今回珠算一級満点合格にチャレンジしたことも、高橋先生の一声がきっかけでした。今まではひたすら段位の問題を解いており、常に昇段を目指していました。しかし、伝票算検定や一級満点合格など、新しい試験に挑戦する機会をいただき、自分の新しい可能性を見出したと感じております。教室での練習では満点を取ることが出来ませんでしたが、本番では見直しを徹底し、奇跡的に一級満点を取ることが出来ました。

独学で珠算を継続することは厳しかったと思います。珠算を習ったことがある人は大勢いても、現在まで続けている同世代の友人は数人です。このような状況の中で、一回り下の年代の生徒と一緒に練習できたこと、大会の団体戦では塾代表の生徒として参加させていただいた経験は大変嬉しかったです。

環境の変化で珠算のみならず継続

ちびっこ 0　18頁



目と指で、イメージ学習　**ちびっこそろばん (0)〜(11)**

難しい理屈は大の苦手でも、子どもたちは物事をイメージで捕えて、体で覚えることは得意です。目で覚え、指で理解することの大切さ。ちびっこそろばんシリーズはこの点に着目した業界初の園児でも学習可能な初歩教材です。豊富な図解に的確な指導要領——分かりやすい教材は、また教えやすさの証明です。類似書の追随を許さぬ高いシェアを誇ります。特に重要な入門段階では、復習用にプリント集もございます。

B5判　48頁・**定価　¥300**

佐藤出版株式会社　☎(0532)45-5956・FAX48-4653

してきたことを辞めてしまうのは非常に勿体ないと感じます。珠算は習い始めてすぐに練習の成果が出るものではありません。数年間に及ぶ努力や忍耐が必要です。周囲の生徒と比べたり、自分だけ結果に恵まれなかったりと自分自身を責めてしまったことも多々あります。しかし、大学まで珠算を継続して分かったことは、周りと比べるのではなく、自分がどう成長できたのかに焦点を当てることが重要であるということです。私は通塾を始めたことにより成長の幅が広がったと実感しました。今までとは異なるフィールドで再挑戦することで新たな視点に気づき、チャレンジする検定試験や大会も増えました。結果にこだわりすぎるのではなく、どのような工夫を凝らし、成長に繋がったのか。その過程に意味があると思います。そして結果が付いてきた場合は、思い切り自分を褒める。こうして人は成長していくのだと思います。

　長年仲間と切磋琢磨して自分の能力を伸ばしていくという経験は人生の貴重な財産です。受験や部活を理由に珠算の練習が疎かになっていた時期もありましたが、辞めるという選択肢はありませんでした。辞めて後悔はあっても、続けて後悔することは決して無いと思います。珠算は勉強面以外でもあらゆる場面で役立ちます。「そろばんを習って良かった！」少しでも多くの子供たちが大人になってそう思える未来を期待しております。

　最後になりますが、珠算を通じて出会えた先生方や仲間に、心から感謝申し上げます。これからもこの経験を糧に、挑戦する姿勢を大切にしながら人生を歩んでいきたいと思います。また、珠算についてもさらなる昇段を目指して日々練習に尽力します。今後もご指導よろしくお願いいたします。

令和７年度全日本珠算選手権大会

　グランプリから約２週間後の８月８日に国立京都国際会館で令和７年度全日本珠算選手権大会が開催された。京都珠算振興会からは、３名の選手が出場した。

　そろばん日本一には、３人による1,500点満点での同点決勝を制し、弥谷拓哉選手（埼玉県）が３年ぶり２回目の日本一となった。また、小学生そろばん日本一は、黒岩乃瑛選手（東京都）が小学生日本一を獲得した。京都府の選手は、磯貝勇誠選手が1480点で13位、三原智輝選手が1430点で50位に入賞した。

　種目別競技は、フラッシュ暗算は、辻窪凛音選手（埼玉県）が３桁15口1.52秒で２年ぶり２回目、読上暗算競技は、久保新選手（北海道）が１題目の５桁以上16桁を正答し、２年ぶり４回目、読上算競技は、浅野貴広選手（北海道）が２年ぶり２回目の優勝を果たした。

　京都関係は、青年学生部の本間聖康選手が読上暗算で５位に、フラッシュ暗算で磯貝勇誠選手が９位に入賞した。

　都道府県対抗競技は、東京都が優勝した。

（木下　卓巳）

一級合格

第234回珠算検定試験
令和７年６月22日（日）
（注　ゴシック字は満点合格者）

浅井湧成（白梅町）上甲颯大（脳育）谷口佑加理・岩佐大・中村旭冴・西脇大智・西村春（醍醐）中根沙南（アイ）西田光希（浦）中別府莉宇（誠珠会）岡田千莉・平井湊人・鷹羽恵佑・山口幸之助（西京都）福田起子・藤井千夏（西京都安井・高雄）小倉颯斗・谷上陽光（桃南）松宮緒莉（木幡平尾）兼﨑紬未（猪熊）**金子紗弥**・川村湊・山本翔大（ábaco）宮﨑絵梨（荒井）

第274回暗算検定試験
令和７年６月22日（日）

善家栞奈（仲童）川村湊（ábaco）井口史優・小園桜羅（脳育）重面亮太・舟木杏莉（ねこだんご）髙見燎雅（醍醐）岸野翼（北山）佐々木掬（橘）

第275回暗算検定試験
令和７年８月31日（日）

福原湊（水上）和多田秀真（アイ）藺上美緒（浦）井上晴仁・原田大輝（北山）藤本葵子（桃南）松本優音・中原明良・河邉心華（西京都安井・高雄）小田羽留・澤谷航生・澤谷日菜（ねこだんご）川原一晃・隠岐日向人・正田愛珠・金史響（醍醐）林直希（誠珠会）直井涼香・木村健仁・山本翔大（ábaco）

第47回伝票算検定試験
令和７年８月31日（日）

山本麻央・秋吉みのり（桃南）近藤暖・川勝将生・村上真太郎（入江）梅本遼希（草苑牧野）米丸陽菜・小島心花・田川玄人（浦）坂田浩介・木村悠貴・福岡ひなた・久保田晴香・近藤潤司（ábaco）植野航成・民谷凛・平田恵悟・西村春（醍醐）宮﨑柑奈・前川まどか・田村衣緒理（荒井）

第47回伝票暗算検定試験
令和７年８月31日（日）

浅井湧成（白梅町）阪森凪紗・田尻星奈・山田理巧・宮下泰智（アイ）西村波音（浦）中司宗佑・木村悠貴・妻鹿友香・木村健仁（ábaco）隠岐日向人（醍醐）里見元・田中慎之助（荒井）

段位暗算検定試験昇段者（京都）

第274回暗算検定試験
令和７年６月22日（日）

六段（一名） 村瀬瑛祐
三段（一名） 川島潤之輔
初段（一名） 中川優芽

第275回暗算検定試験
令和７年８月31日（日）

八段（二名） 蔵城禾子・村瀬瑛祐
七段（七名） 近藤大翔・髙木悠莉子・若松真衣・長谷川翔大・内海裕斗・井上桧里・山本翔大
四段（二名） 川島潤之輔・富樫里穂
三段（四名） 岸野翼・齊藤光・西脇大智・前田真甫
二段（三名） 柴田雅功・前田宙邑・川村湊
初段（二名） 前田侃太朗・小山桔平

第47回伝票算検定試験
令和７年８月31日（日）

四段（二名）若松真衣・井上斗里
参段(五名)渕上宗一郎・松宮緒莉・加藤心優・前田真甫・川﨑妃真乃
準参段（一名）太田惇平
弐段（七名）森元健心・中川優芽・上野文緒・内田裕人・小坂賢心・中村心咲・岡田優衣
準弐段（三名）上田実歩・栗本蒼真・松中咲希
初段（二名）手塚啓太・隠岐日向人
準初段（六名）荒武頌之・坂口真依子・岩城創亮・妻鹿友香・北村聡良・橋本汐音

第47回伝票暗算検定試験

令和7年8月31日（日）

七段（一名）中村遥太
六段（二名）木村浩貴・井上桧里
五段（一名）松浦陸人
四段（三名）中根沙南・桑名紘生・松中咲希
参段（一名）藤本葵子
準参段（一名）柴田雅功
弐段（四名）川内虹・小松睦・和多田秀真・櫻木志恩
準弐段（二名）森望・高田有里奈
初段（一名）柴田理都
準初段（三名）中村ひかり・桑名航生・中川優芽

第144回段位認定試験　受験者　143名

珠算・暗算申込　77名
珠算申込　44名
暗算申込　24名

令和7年6月22日（日）

（注　ゴシック字は昇段者）

珠算段位認定者

十段（一名）本間聖康
九段（一名）久野凌佑
七段（二名）矢ヶ部菜月・三原駿介
六段（二名）金子紗弥・喜多桃香
五段（三名）矢ヶ部椎菜・尾崎壮祐・民谷萌々香
四段（四名）**井上優里・風間芽奈**・家森快斗・藤井愛理
三段（六名）前田蒼空・佐藤光・**松本愛弓・井爪惺太朗**・間下佳歩・石田駿
準三段（六名）**尾崎敦啓・砂田颯太・濱田悠生・久世倫太郎**・吉井晨悟・松島有希乃
二段（十三名）井上斗里・森野乃花・長谷川由衣・宮島彩夏・**水野雄心・小林樹生**・石田藍之佑・伊藤利紗・**石塚妃奈・西條結衣**・岡田大地・**藤木佐理**・龍頭杏奈
準二段（十名）畠中心春・**水上拓真・渡辺琳音**・奥田大輔・**高橋良丞・水原千香子・久田采音**・村上拓摩・小寺結子・佐藤理一
初段（十四名）榊原和真・加藤心優・**森田桜香**・寿野楓・坂部恵都・澤井彩菜・**中川凛音**・武田明子・**森田明**・星田和輝・矢田正鷹・**近藤大翔**・黒田咲太郎・佐藤日菜子
準初段（二十六名）原祐里・**柴田明莉・齊藤光・前田真甫**・小西陽・**紫尾田崇生・山下佳純**・蟹江紬・**西悠汰・林柚希**・松本優音・小林泉望・河邉心華・**矢橋央脩・前川晃成**・谷口佑加理・**川原一晃**・川﨑妃真乃・**真常寛太**・藺上美緒・**上野文緒・岡田千莉**・村上麗・**藤井咲良・島﨑美結・重面亮太**

暗算段位認定者

満点十段（一名）**久野凌佑**
九段（三名）矢ヶ部菜月・三原駿介・本間聖康
八段（一名）尾崎壮祐
七段（四名）矢ヶ部椎菜・佐藤光・金子紗弥・喜多桃香
六段（二名）家森快斗・**間下佳歩**
五段（三名）尾崎敦啓・**民谷萌々香**・藤井愛理
四段（三名）井上優里・松本愛弓・**吉井晨悟**
三段（七名）水上拓真・井上斗里・風間芽奈・**前田蒼空**・宮島彩夏・濱田悠生・**澤桜生**
準三段（七名）**榊原和真・森田桜香**・水野雄心・**矢橋央脩・久世倫太郎・上甲颯大・太田惇平**
二段（九名）畠中心春・砂田颯太・**加藤心優・柴田明莉**・寿野楓・高木悠莉子・井爪惺太朗・**浅井湧成・森元健心**
準二段（八名）原祐里・小西陽・蟹江紬・渡辺琳音・**若松真衣**・中村遥太・家村叡瑠・**中根沙南**
初段（九名）**宮川葵咲**・森野乃花・長谷川由衣・**森田明**・石田藍之佑・**矢田正鷹・前川晃成**・金川湊太・村尾聡亮
準初段（六名）**村田紗和**・髙嶋奏・山下佳純・**西悠汰**・伊藤利紗・**里見元**

施行日　令和7年6月22日（日）
第234回　1・2・3級珠算能力検定試験

級別	受験者数	合格者数	合格率
1級	120名	29名	24.2%
2級	130名	53名	40.8%
3級	118名	71名	60.2%
計	368名	153名	

施行日　令和7年6月22日（日）
第161回　準1級・準2級・準3級
第424回　4・5・6・7・8・9・10級
珠算能力検定試験

級別	受験者数	合格者数	合格率
準1級	27名	20名	74.1%
準2級	65名	46名	70.8%
準3級	27名	18名	66.7%
4級	59名	44名	74.6%
5級	67名	59名	88.1%
6級	64名	54名	84.4%
7級	42名	41名	97.6%
8級	24名	22名	91.7%
9級	13名	10名	76.9%
10級		3名	23.1%
計	388名	317名	

第274回　暗算検定試験

級別	受験者数	合格者数	合格率
段検	9名	4名	44.4%
1級	21名	12名	57.1%
2級	24名	10名	41.7%
3級	40名	34名	85.0%
準1級	14名	10名	71.4%
準2級	10名	7名	70.0%
準3級	11名	11名	100.0%
4級	39名	39名	100.0%
5級	21名	21名	100.0%
6級	19名	17名	89.5%
7級	11名	6名	54.5%
8級		3名	27.3%
9級		1名	9.1%
10級		0名	0.0%
計	219名	175名	

施行日　令和7年8月31日（日）
第162回　準1級・準2級・準3級
第425回　4・5・6・7・8・9・10級
珠算能力検定試験

級別	受験者数	合格者数	合格率
準1級	27名	18名	66.7%
準2級	40名	32名	80.0%
準3級	27名	22名	81.5%
4級	47名	36名	76.6%
5級	38名	33名	86.8%
6級	50名	47名	94.0%
7級	27名	26名	96.3%
8級	26名	25名	96.2%
9級	14名	14名	100.0%
10級		0名	0.0%
計	296名	253名	

第275回　暗算検定試験

級別	受験者数	合格者数	合格率
段検	34名	23名	67.6%
1級	39名	22名	56.4%
2級	39名	29名	74.4%
3級	30名	26名	86.7%
準1級	9名	6名	66.7%
準2級	17名	10名	58.8%
準3級	16名	16名	100.0%
4級	31名	31名	100.0%
5級	19名	18名	94.7%
6級	27名	26名	96.3%
7級	16名	15名	93.8%
8級		1名	6.3%
9級		0名	0.0%
10級		0名	0.0%
計	277名	223名	

第47回　段位・1・2・3級伝票算検定試験

級別	受験者数	合格者数	合格率
段検	52名	27名	51.9%
1級	29名	21名	72.4%
2級	26名	22名	84.6%
3級	28名	27名	96.4%
計	135名	97名	

第47回　段位・1・2・3・4・5級
伝票暗算検定試験

級別	受験者数	合格者数	合格率
段検	38名	19名	50.0%
1級	20名	13名	65.0%
2級	19名	14名	73.7%
3級	34名	26名	76.5%
4級	5名	5名	100.0%
5級	3名	3名	100.0%
アスリート	0名	0名	
計	119名	80名	

(注)伝票・伝票暗算・暗算段検の合格者数は昇段者数、昇段率

お詫び

会報223号にて記載漏れがございました。
謹んでお詫び申し上げます。

退会

余田進三郎　先生　1号A（3月末日）
【9月にご逝去なされました。お悔やみ申し上げます。】
橋根　昭子　先生　1号多塾A（3月末日）
泉　幸子　先生　2号A（3月末日）

所属変更

泉　又行　先生　1号A→2号A

会員消息

退会

川本　敏代　先生　1号A

事務局日誌

六月二十二日

一．第234回1級～3級、第161回準1級～準3級、第424回4級～10級珠算能力検定試験、第274回段検・1級～10級暗算検定試験、第144回段位認定試験、

一．第1回役員会
　1．6月検定の報告と反省　2．8月検定について　3．2025年度全日本ユース珠算選手権大会の報告　4．そろばんグランプリジャパン2025予選会の報告と反省　5．そろばんグランプリジャパン2025本大会について　6．2025年京都カップ珠算競技大会の報告と反省　7．2025年全国あんざんコンクールについて　8．2024年近団連総会・研修会・懇親会の報告　9．2025年度近団連総会について　10．9月例会時の研修会について　11．9月例会および会員親睦会について　12．会報223号発行の報告　13．京（みやこ）わくわくのトビラ（土曜塾）開催について　14．2025年ちびっ子そろばんフェスティバルについて　15．その他

一．会報223号発行

六月二十三日～七月六日

一．2025年全国あんざんコンクール開催

六月二十六日

一．京都府珠算連盟連合会令和6年度監査　於　京都商工会議所

七月三日

一．近団連伝票算検定委員会
　於　大阪珠算協会

七月十日

一．京都府珠算連盟連合会令和6年度定時総会（書面決議）

七月十三日

一．岸和田珠算協会珠算指導者講習会
（参加者2名）
　於　和泉市コミュニセンター

七月二十日

一．2025年全国あんざんコンクール部門別「全国一」決定審査会

一．グランプリジャパン強化練習会
　於　山ノ内自治会館

七月二十三日

一．日珠連振興部会
（Zoomによるオンライン会議）

七月二十七日

一．そろばんグランプリジャパン2025　於　兵庫県立文化体育館

八月二十四日

一．第2回検定委員会

八月三十一日

一．第162回準1級～準3級、第425回4級～10級珠算能力検定試験、第275回段検・1級～10級暗算検定試験、第47回伝票算・伝票暗算検定試験、

一．第2回役員会
　1．8月検定の報告と反省　2．10月検定について　3．そろばんグランプリジャパン2025（兵庫）の報告　4．2025年全国あんざんコンクールの報告と反省　5．2025年そろばんコンクールについて　6．第69回塾生珠算競技大会について　7．2025ちびっ子そろばんフェスティバルについて　8．令和7年度優良生徒表彰式について　9．9月会員親睦会について　10．会報224号発行予定について　11．2026年新春そろばんはじき初めについて　12．令和7年度小学校支援活動講師派遣について　13．9月例会ならびに研修会について　14．その他

九月七日

一．委員会
　1．第5回総務委員会
　1．第3回検定委員会
　1．第1回競技委員会
　1．第1回塾経営広報委員会

一．第2回例会
　1．各委員会の事業報告と予定および意見交換

九月十四日

一．日珠連振興部会
（Zoomによるオンライン会議）

九月十四日・十五日

一．日珠連見学研修会
　於　秋田あんざんアカデミー

九月三十日・十月七日・十四日・十九日

一．第6・7・8・9回総務委員会
　1．会員親睦旅行ならびに新年会開催について　2．会報224号校正について

十月五日

一．2025年度珠算指導講習会
（参加者2名）
　於　大阪商工会議所

十月十九日

一．第4回検定委員会
　1．8月検定について　2．その他

一．第89回きんきベスト100大会代表者会議　於　山ノ内自治会館

十月二十三日

一．新春そろばんはじき初め打合せ
　於　北野天満宮

編集後記

今夏は猛暑日の連続でクーラー全開の毎日でしたが、お彼岸を境にして涼しさが戻ってきました。昔から「暑さ寒さも彼岸まで」という諺通り、季節は変化してきています。天気予報のない数百年前からの言い伝えが、現代の世にも通じています。塾では、季節の変化を表現する暦や祝日、記念日などの言われを子供たちに説明をしています。先日、10月になると夕暮れが早くなるのを「秋の日は釣瓶落とし」という説明をしたところ、「鶴瓶」が何で落ちるのかという質問がありました。「つるべ」違いですが、今は敷地に井戸がある家が少なく釣瓶を知らない子供がほとんどです。8月8日に今日は何の日か聞いたところ、1人だけソロバンの日と答えられた子供がいました。塾ではソロバンの事だけではなく、諺や昔からの言い伝えや今の世の中の動きなど短い時間でも子供達と会話しては如何でしょうか。